

いま 地球のために できること

Reuse
リユース
くり返し使おう！

Recycle
リサイクル
再び資源として
利用しよう！

Reduce
リデュース
ごみを減らそう！



CONTENTS



1 あなたの暮らしと3R

地球の環境や資源のことを考えてみよう	2
私たちができることはなんだろう	4
いま求められている循環型社会とは	6
私たちが実践できることを考えていこう	8
リデュース(ごみを減らそう)について考えてみよう	10
リデュースのしくみと実践	12
リユース(くり返し使おう)について考えてみよう	14
リユースのしくみと実践	16
リサイクル(再び資源として利用しよう)について考えてみよう	18
製品についている識別マークに注目してみよう	20
缶・ペットボトルのリサイクルのしくみ	22
紙のリサイクルのしくみ	24

2 国の3Rへの取り組み

循環型社会にするためのいろいろな法律	26
● 容器包装リサイクル法ってなんだろう？	27
● 家電リサイクル法ってなんだろう？	28
● パソコンのリサイクル	29
● グリーン購入法ってなんだろう？	30

3 企業の3Rへの取り組み

3Rに企業はこうして取り組んでいます	31
--------------------	----

4 情報を活用しよう

ホームページを活用しよう	33
--------------	----

5 これから

できることを見つけて、取り組んでいこう！	35
----------------------	----

地球の環境や資源のことを考えてみよう

私たちが便利で豊かな生活を送っているのは、必要な資源を使って大量に物をつくり、それらを消費、いらなくなった物を捨てるというシステムがあるからです。

ところが、このシステムでは、地球の二酸化炭素(CO₂)の排出量が増加し、地球が暖かくなる(温暖化)など、さまざまな環境問題が生じることになりました。その一方で、必要な資源を採取し、自然環境を破壊した

り、あるいはいらなくなった物を捨てることによって、自然環境を汚染したりして、地球の環境そのものにも大きな負荷をかけることになったのです。

私たちの住む地球の環境を守っていくためには、これまでのように、多くの資源エネルギーを使い、いらなくなったら捨てるというのではなく、資源を有効に活用しモノを大切に使う、環境にやさしいライフスタイルへと転換していくことが求められています。

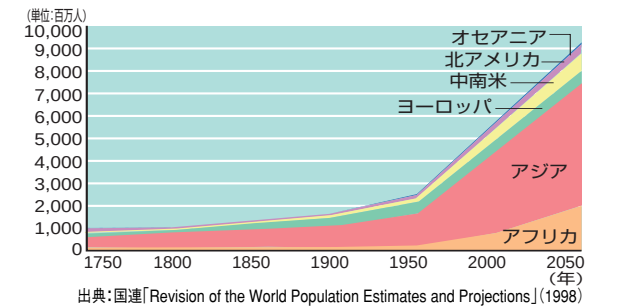


公害から環境へ

かつてわが国に見られた、特定の地域を汚染する公害と異なり、今日の環境汚染は広範囲に及びます。また、汚染物質は分解されずに残ることから、次世代にも影響をもたらすことになります。

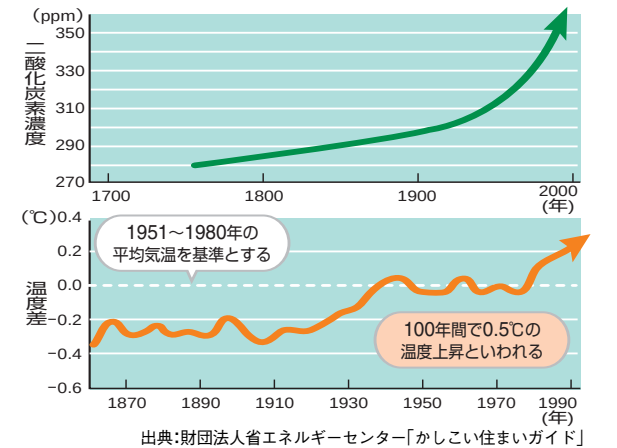


わが国の二酸化炭素総排出量は世界第4位です。これは世界の総排出量の約5%を占めます。



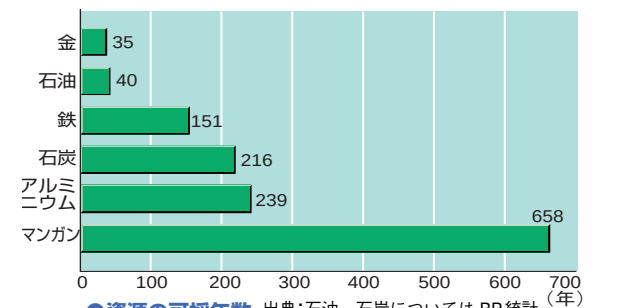
●世界の人口は増え続けている

アフリカやアジアなどの発展途上国を中心に、世界の人口は急速に増え続けています。このことが、資源や環境の問題に大きく影響してきます。

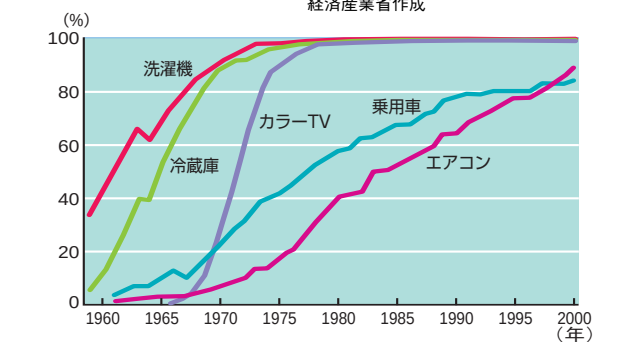


●増え続けるCO₂排出量と上昇する地球の温度

CO₂などのガスは、地球を温室のようにして、大気層の熱を逃がさないようにします。さまざまな活動にともなって生まれるCO₂の排出量が急速な勢いで増え、地球が温暖化しています。



●資源の可採年数



●耐久消費財普及率の推移

電化製品は、家庭に急速に普及しました。その結果、必要だから買うとか、使えなくなったから買い替えるというだけでなく、より良い物を求めて買い替えるというように、まだ十分に使える物が捨てられることが問題になっています。

私たちができることはなんだろう

地球の環境や資源の問題にかかわってくる身近な問題として、ごみの問題があります。

ここでは、ごみについて考えてみましょう。

有害物質などを含んだごみが、そのまま捨てられると自然環境を破壊するだけでなく、私たちの健康にも影響がでてきます。ごみが衛生的に、また環境にも負荷をかけないようにすることによって、はじめて私たちの健康

や環境が守られるのです。

また、ごみはその4分の3が焼却することによって処理されています。したがって、ごみの量が多くなればそれだけCO₂の排出量を増やすことになるのです。

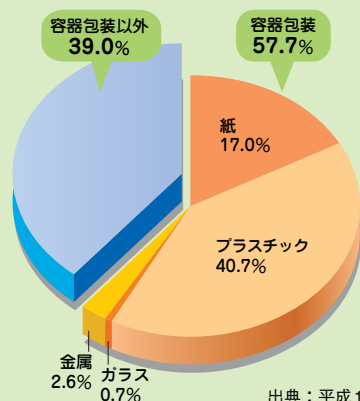
ごみを減らすことは、地球の資源や環境にかかわる重要な課題といえます。

家庭から出るごみの量はどのくらい？

日本全体では、年間5,210万トン(東京ドーム140個分)のごみが家庭から出されています。この量は、1人が1日に約1kgものごみを出していることになります。

家庭ごみの中身ってどんなもの？

家庭から出されるごみを、その容積からみると、約60%が容器包装類です。



ごみとは？

廃棄物は、法律(廃棄物処理法)によって一般廃棄物と産業廃棄物に分けられます。一般廃棄物の処理は各市町村、産業廃棄物の処理は排出業者にその責任があります。私たちが「ごみ」と呼んでいるものは、一般廃棄物のことであり、日常生活にともなって家庭から出てくるものや事業活動にともなって出てくるものがあります。

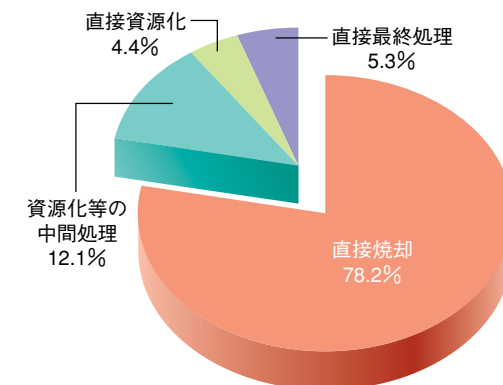
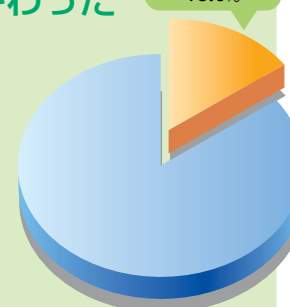


資源として生まれかわったごみはどのくらい？

ごみのうち資源として再利用されるのは、総排出量の15.0%にすぎません。ごみそのものを減らしていくとともに、資源としてよみがえらせていくことが重要です。

出典：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成13年度実績)」を参考に経済産業省作成

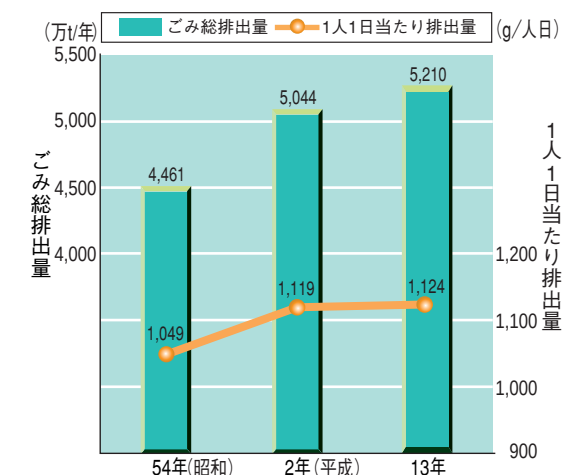
資源化されたゴミ 15.0%



出典：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成13年度)」

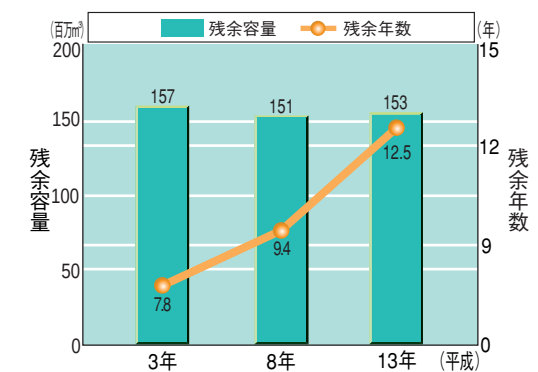
●ごみはどのように処理されるの？

日本のごみの78%が焼却処理されています。国土が狭く高温多湿な日本は、焼却によってごみを衛生的に処理し、灰にして埋立量を減らす必要があります。



出典：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成13年度実績)」に加筆

●ごみの排出量の推移



出典：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成13年度実績)」に加筆

●最終処分場は約12年でいっぱいになる

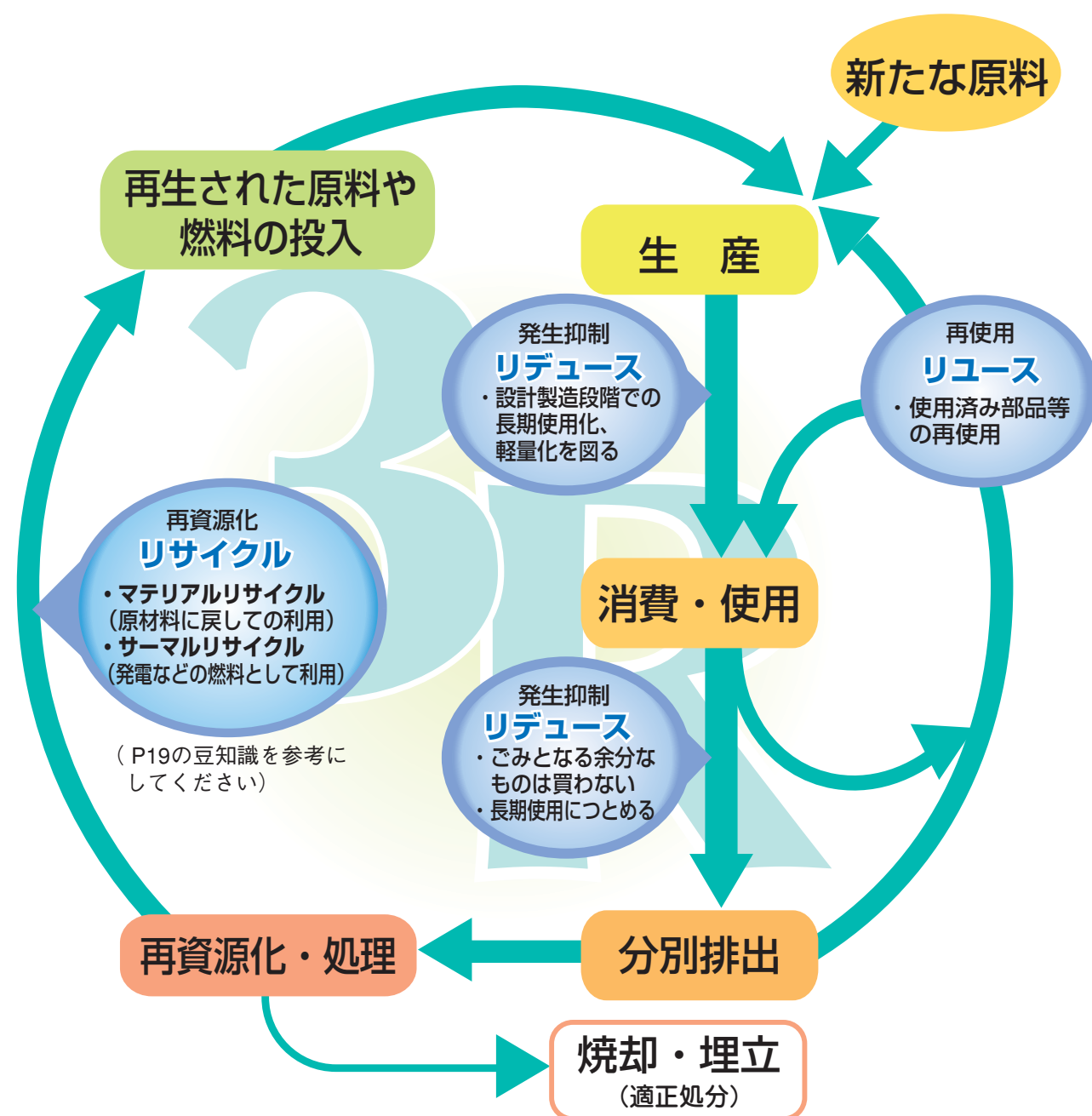
最終処分場は2,059施設、残余容量は1億5,261万m³、残余年数は全国平均で12.5年分となっています。残余年数については、地域でのばらつきが大きく、とくに首都圏では10.9年分、近畿圏では10.5年分となっており、けって余裕のある状況ではありません。

いま求められている 循環型社会とは

ごみそのものの発生を抑えたり、従来はごみとして捨てていた物を再使用したり再生利用したりして、ごみとして処分する物をできるだけ少なくする。

このように、物質の循環が実現し、資源の消費が抑えられたり、環境への負荷をできるだけ少なくする社会が「循環型社会」といえます。

循環型社会のキーワードは3R



環境にやさしい ライフスタイルはなんだろう

私たちは「豊かな社会」といわれるなかで、まだ十分に使えるものでもすぐにごみとして捨て、新しいものを買って求めるということを知らず知らずのうちにやってきました。たとえば、電気製品のことを考えてみましょう。かつては、電気製品などの製品は、故障したら修理して使うということが当たり前のように行われていました。ところが、現在は故障した場合に修理しようとしても、新品を買う方が安いという状況になっています。この状況も、考えてみれば、私たち1人ひとりがこのようなシステムを受け入れ、作り上げた結果だといえます。

いま、1人ひとりが自分のライフスタイルを見つめ直す時期にきています。資源も無限ではありません。世界中から資源をかき集めてきても、いつかはなくなってしまうのです。なくなるだけではありません。私たちが便利さを追求することが自然環境を破壊していることもあるのです。

とくに、私たちの住む日本では、「豊かさ」が「もの」に代表され、それを追い求めてゆとりや時間を費やすということになってきてはいなかったでしょうか。何もない社会に戻れということではありませんが、自分だけならと思っていても世界とつながっていることを忘れてはいけません。いま、環境にやさしいライフスタイルを実現していくことが求められているのです。



排出者の責任とは？

ごみを捨てる人、すなわち国民や事業者がそのごみのリサイクルや処分に責任をもつことです。

例えば、ごみをきちんと処分することや事業者が自分のごみのリサイクル・処理を自ら行うことなどです。

生産者の責任とは？

モノを作る人や販売する人が、そのモノがごみになった後まで一定の責任を負うことです。

例えば、リサイクル、処理しやすいように設計や材質を工夫したり、材質等を表示すること、ごみになったモノの特性に応じてその取り回し・リサイクルを実施することなどです。

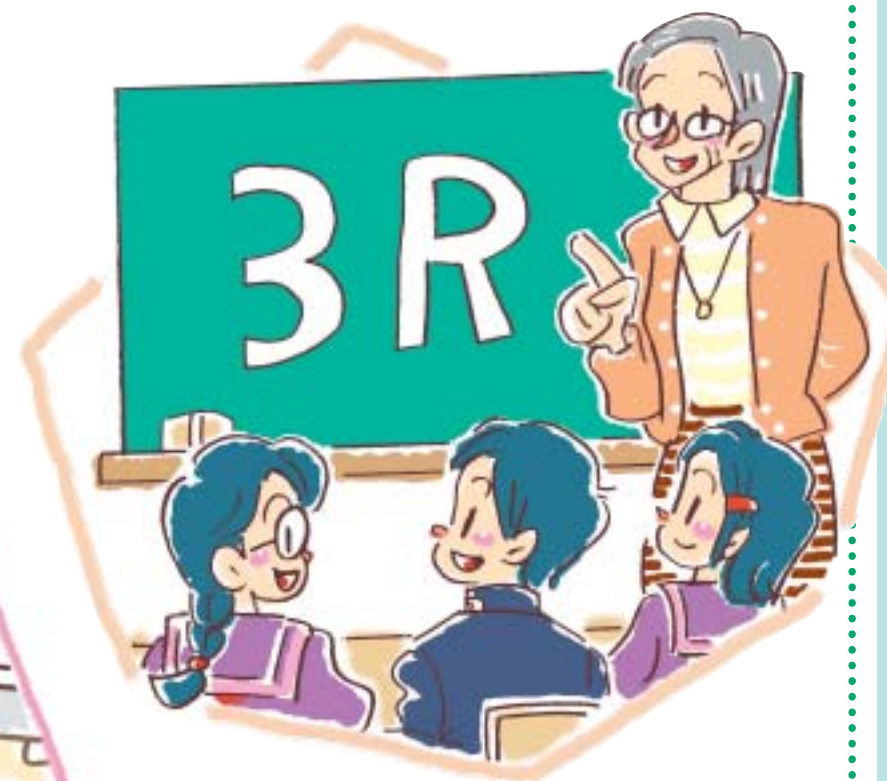
私たちが実践できることを考えていこう

私たちの日常生活の中で実践できることはたくさんあります。

日頃、買ったり消費しているものが、環境にやさしいかどうか、見直してみましょう。ごみは1人ひとりが捨てているものなので、他人にまかせるのではなく、減らそうと

思っ、自分自身で考えていくことがたいせつです。

とくにごみは、1人ひとりが日常生活の中で出すものです。自分の出すごみは少ないから関係ないというのではなく、1人ひとりが減らそうと思って、さまざまな取り組みをしていくことがたいせつです。



〈休日の朝、食卓で〉

- 兄 昨日、総合的な学習の時間で3Rについて勉強したよ。地球を守るために大事なことなんだって。
- 母 えっ、スリーアール？それ何？
- 妹 私、知ってる。私も学校で習ったよ。リデュース・リユース・リサイクル！
- 母 リサイクルはわかるけど、リデュース、リユースは知らないわ。
- 父 リデュースは、ごみを減らすこと、リユースは、ごみにしないで、繰り返し使うことだよ。
- 母 リデュース、リユースか……。そういえば、最近、うちでもごみの量が増えてるみたい。どうしたら、ごみを減らせるのかしら…。
- 兄 じゃあ、うちでも、3Rしてみようよ。



リデュースがなぜ重要なのでしょう？

ごみをリサイクルしたり、焼却したりして減らすことができたとしても、その過程でエネルギーが必要になり、資源を使うことになります。また、焼却することによって二酸化炭素を排出したり、ダイオキシンの例のようにあらたな有害物質を生

み出す危険性もあるのです。したがって、ごみを出してからその処理をするのではなく、ごみそのものを発生させないこと(リデュース)がもっとも効果的なのです。

リデュース（ごみを減らそう） について考えてみよう

リデュースは、わかりやすく言えば、ごみを減らすことです。もちろん、必要のないものが出たときにできるだけごみとして捨てないようにすることが必要です。ところがすべてのものがリサイクルできるわけ

はありません。重要なことは、買うときに、^{かじょう}過剰な包装をこたわる、必要のないものは買わないなど、本当に必要かどうか、もう一度考えてみることです。



■ 買う前にもう一度考えよう

安いからといって、不要なもの、あるいは必要な量以上を買っているケースがよくみられます。とくに食料品のなかには食べ残しによるものが多くみられます。買うときに、必要なものかどうか、あるいは必要な量かどうか、考えてみましょう。

〈スーパーにて〉

- レジ係 レジ袋はいりますか。
- 母 てさげ袋をもってきたので、レジ袋は必要ないわ。
- レジ係 ご協力ありがとうございます。
- 客 すてきな袋ね。私もこれからもってこようかしら。
- 母 そうした方がいいわよ。レジ袋は、年間一人あたり300枚[※]も使われているらしいわよ。
- 客 えっ、そんなに！これから少しでも減らすようにするわ。

※生産量から推定した年間の値
日本ポリオレフィンフィルム工業組合

〈日曜日のリビングにて〉

- 妹 テレビ、そろそろ買い替え^かようよ。
- 父 そうだね。最近いいテレビもできたし、買い替えてもいいころかもね。
- 母 でも、壊れてるわけじゃないのよ。
- 兄 そうだよ。まだまだ使えるし。もうちょっと使ってから買い替えてもいいんじゃない。
- 母 そうよ。お兄ちゃんのいうとおりよ。
- 父 じゃあ、今度、買うときは環境^{かんきょう}にやさしく作られているものを、調べてから買うことにしよう。

リデュースのしくみと実践

必要なだけ買おう！



食べきれんぶんだけ買おう



こわれたら、直せないかな？



家に使いかけのものはないかな



容器を持って行って詰めてもらおう

過剰な包装は断ろう！



特別なプレゼントでなければ、ふだんは簡単な包装でじゅうぶん

環境にやさしいものを考えて買おう



私たちは、環境への影響^{えいきやう}ができるだけ少ない製品やサービス^{サービス}を選択^{せんたく}して買いたいものです。

このことをグリーン購入といい、私たち

がこうした製品やサービスを積極的に求めていくことによって、環境にやさしい製品やサービスが増えていくことにつながるのです。

いろいろな商品に付いているマークのことを知っていますか。詳しい説明はP20・21を見ましょう。

！ こうして実践！

- ① 買い物の際は、買い物袋^{ぶくろ}(マイバッグ)を持参し、レジ袋を断る
- ② 過剰^{かじょう}包装や不要な包装は断る
- ③ 買いすぎないように、いらないものは買わない
- ④ 洗剤・シャンプーなどは中身をつめ替え^かえられる商品を買う
- ⑤ 長持ちするものを購入する

リユース（くり返し使おう） について考えてみよう

リユースは、ものを再使用するということです。いらなくなったものを、ごみとして捨てるのではなく、洗ったりなおしたりしてもう一度使えるようにすることです。

牛乳びんなどには、リターナブルびんと呼ばれるも

のがあります。これは、一度使ったものを回収し、きれいに洗って消毒してくり返し使うものです。このようなことは、同じものを何度も使用できるので、資源の節約につながります。



〈お友達の家で〉

- 母 おやつ時間ですよ。
- 妹 あれっ？学校のといしょだ！びんに入っている牛乳だ！
- 友だち えっ！ななちゃんの家ではびんじゃないの？
- 妹 うん。うちではパックに入っているよ。
- 母 びんだと洗って何度も使えるのよ。
- 妹 そうか。おかあさんにも教えてあげよう。



〈フリーマーケットにて〉

- 妹 おばあちゃん。見て行って！やすいですよ。
- おばあちゃん あら、いい服ね。新しいんじゃないの？
- 兄 そうなんです。2、3回しか着てないんです。
- おばあちゃん 気にいらなかったのかい？
- 妹 そうじゃないんです。大きくなったから、着れなくなったんですよ。
- おばあちゃん 孫に買っていこうかしら。
- 兄 ごみとして捨ててしまうのはもったいないと思っていたから、だれかに着てもらえると嬉しいな。



リターナブルびんとワンウェイびん

リターナブルびんとは、牛乳びん、ビールびんなどのように、洗って何度も繰り返し使うことができるびんのことです。回収されると、そのままの形で再び容器として使用されます。それに対して、ワンウェイびんとは、1回だけ使うことを目的として作られたびんのことです。ただし、使い終わっ

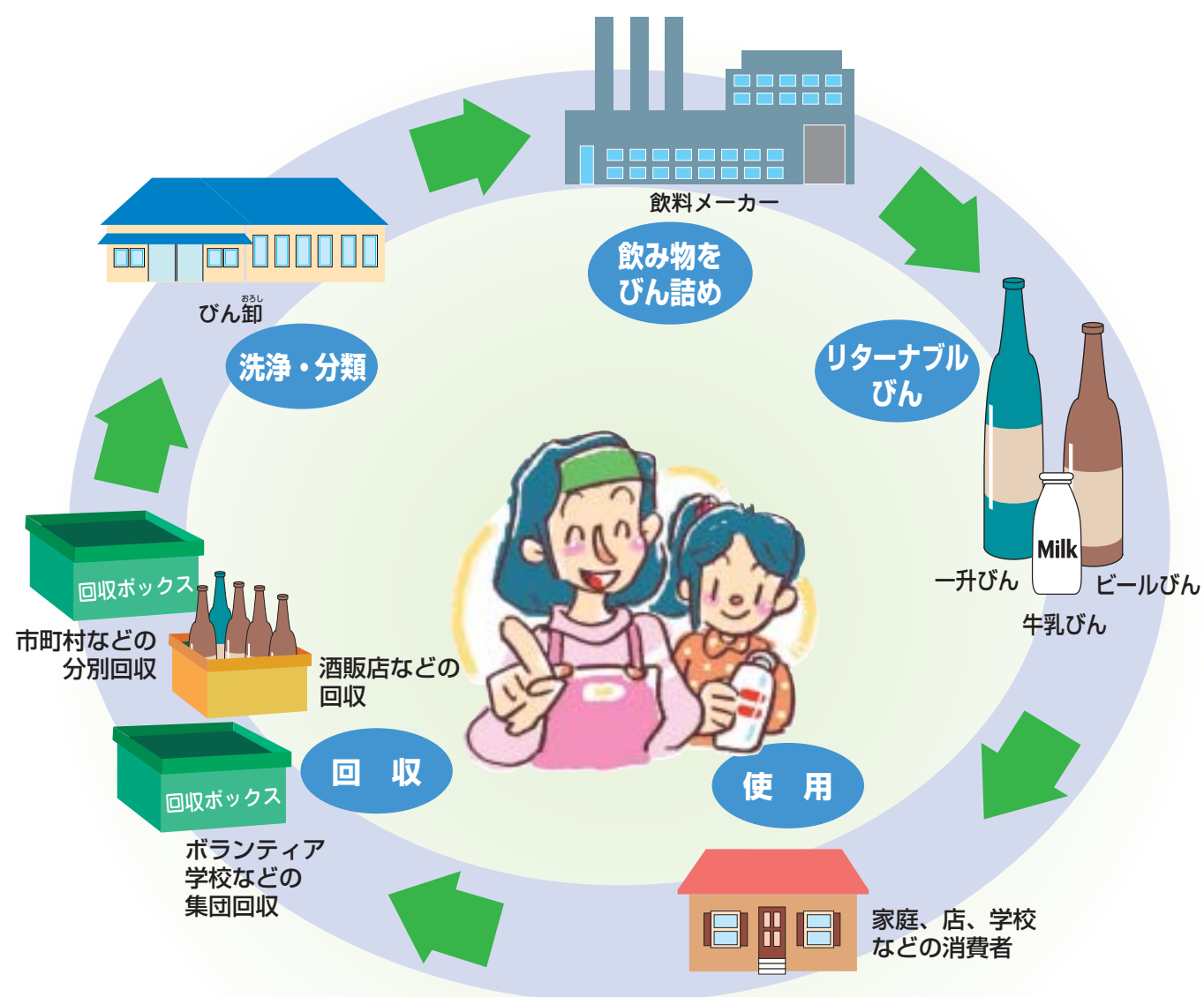
たあと分別回収によるリサイクルシステムにのせると、くだかれてカレットとよばれるびんの原料となり、高温で溶かされて再びガラスびんとして生まれかわります。使い終わったら資源として分別して出しましょう。

リユースのしくみと実践

リターナブルびんに入った牛乳やビールなどを飲んだ後、消費者は酒屋さんなどに持って行って引き取ってもらったり、分別回収などで資源ごみとして出す必要があります。もし、ごみとして出してしまうと燃え

ないごみとなってしまいます。回収されたびんは、びん卸が引き取って洗浄し分類します。

そして、牛乳やビールなどのメーカーが再び製品をつめて、出荷することになります。



他の人に使ってもらう方法

1 市町村などによる不用品のあっせん

市町村では、不用品のあっせんや不用品交換情報の提供を行っているところがあります。あげたい人・もらいたい人の情報を市町村が調整する、といったようなしくみがあります。

2 リサイクルショップ

リサイクルショップや古本屋ではいらなくなったものや洋服、本、マンガを買い取ってくれます。しかし、商品として売れるきれいなものに限ります。

3 フリーマーケット

休みの日に公園でいらなくなったものを持ち寄ってお店を開くフリーマーケットは年々さかになってきました。各市町村のリサイクル窓口にお問い合わせると、参加のしかたを教えてください。

4 友だちなどにあげる

すぐにできるリサイクルは、誰か知り合いにあげるというものです。小さくなって着られなくなった洋服や使わなくなったおもちゃなども、有効に活かしましょう。

！ じっせん こうして実践！

- 1 リターナブル容器のものを選ぶようにする
- 2 不用になった服は友だちにあげたりフリーマーケットに出したりする

リサイクル(再び資源として利用しよう)について考えてみよう

リサイクルは、いらなくなったものを再生して利用するということです。いらなくなったものを、ごみとして捨てるのではなく、ものをつくるための原料や燃料としてまた利用するものです。たとえば、お茶やジュースが入っているペットボトルは、繊維の原料となって、フリースなどに生まれ変わります。

ただし、ペットボトルを使える資源にするには、キャップやラベルをはずし、中をすすいでつぶすといった、ルールを守って回収に出すことがたいせつです。ほかのごみといっしょに捨ててしまえば、ただのごみとなってしまいます。



〈公園の空き缶拾いで〉

- 友だち アルミ缶は、この袋に入れてください。
- 妹 この表示はアルミ缶だから、ハイッ！。こっちのはスチール缶だから、ちがう袋にいれなくちゃ。
- おばさん ペットボトルはこっちよ。
- 友だち なぜ、分けて集めるんですか？
- おばさん 資源として活かすためには、同じものを集める必要があるのよ。
- 友だち そうか。だから表示がついているんだね。

〈兄のサッカーの試合で〉

- 兄 試合に勝ったあとのスポーツドリンクは最高だね。もう1本飲もうっと！
- 友だち ごみ箱に捨てちゃだめだよ。
- 兄 どうして？
- 友だち 缶はリサイクルされるんだよ。そのためには、他のごみと分けて出さなければ、だめなんだよ。
- 兄 ごめん、ごめん。試合と同じようにルールがあるんだね。



3つのリサイクル

リサイクルには3種類あります。

- ① マテリアルリサイクル
使い終わったものを、製品の原材料として再利用するリサイクルのことで、金属やひとつの素材から作られているものが適しています。アルミ缶がアルミ缶の原料に、洗剤のプラスチック容器が公園のベンチなどになります。
- ② ケミカルリサイクル
使い終わったものを化学的に分解するなどして製品の原材料として再利用するリサイクル

のことで、プラスチックのリサイクルなどで一部行われています。最近ではペットボトルから再びペットボトルをつくるリサイクル技術も実用化されています。

- ③ サーマルリサイクル
使い終わったものからエネルギーを回収するリサイクルのことで、汚れがついていたり、いくつかの素材で作られているものは、マテリアルリサイクルがむずかしいため、焼却する際に発生する熱で発電したり、固形燃料に加工しエネルギー源として利用します。

製品についている 識別マークに注目してみよう

■ごみを資源としてよみがえらせるには、正しい分別が必要です。

私たちが排出するごみを、適切に再資源化(リサイクル)するためには、私たちが、ごみを正しく分別し、決められたルールに従って排出することが、スタート地点となります。

ごみの分別のルールは、現在は自治体によって異なりますが、家庭でごみを分別する際、商品の容器や包装などに表示されている識別マークが参考になります。



紙製容器包装

(飲料・酒類用紙パックでアルミ不使用のものおよび段ボール製容器包装を除く)



プラスチック製容器包装

(飲料・酒類・しょうゆ用のペットボトルを除く)

表示はなぜついているの？

私たちが商品を購入し、その中味を消費、使用した後は、大量の容器や包装がごみとなって排出されます。

容器包装のリサイクルを促進するため、「資源有効利用促進法」に基づき、飲

物やお酒の缶、ペットボトル、プラスチックや紙でできた容器包装を製造、利用、輸入販売する事業者(企業)は、識別マークを表示しなければなりません。

自主的表示マーク

飲料・酒類用紙パック(アルミ不使用)と段ボール製容器包装は識別表示の法的義務はありませんが、関係業界団体が自主的にマークを採用し、表示することになっています。



段ボール



紙パック

充電式電池の識別マーク

電池には、使いきりの一次電池と充電して何度も繰り返し使える充電式電池があり、種類により、使用済電池の処分方法が異なります。電池には希少な金属が含まれているため、リサイクルにより資源の再利用に努める必要があります。

「資源有効利用促進法」では、電池メーカーに対し、充電式電池への識別マークの表示を義務づけるとともに、電池メーカー及び使用機器メーカーにも自主回収及びリサイクルを、義務づけています。



充電式電池が使われている製品



充電式電池の回収リサイクルの方法

電器店やカメラ店、量販店などに設置されているリサイクルボックスに入れてください

充電式電池には、ニッケルやカドミウム、コバルト、鉛など希少な資源が使われています。ニカド電池の場合、ニッケルと鉄の合金はステンレスの材料として、カドミウムは新しいニカド電池の材料として活用されています。

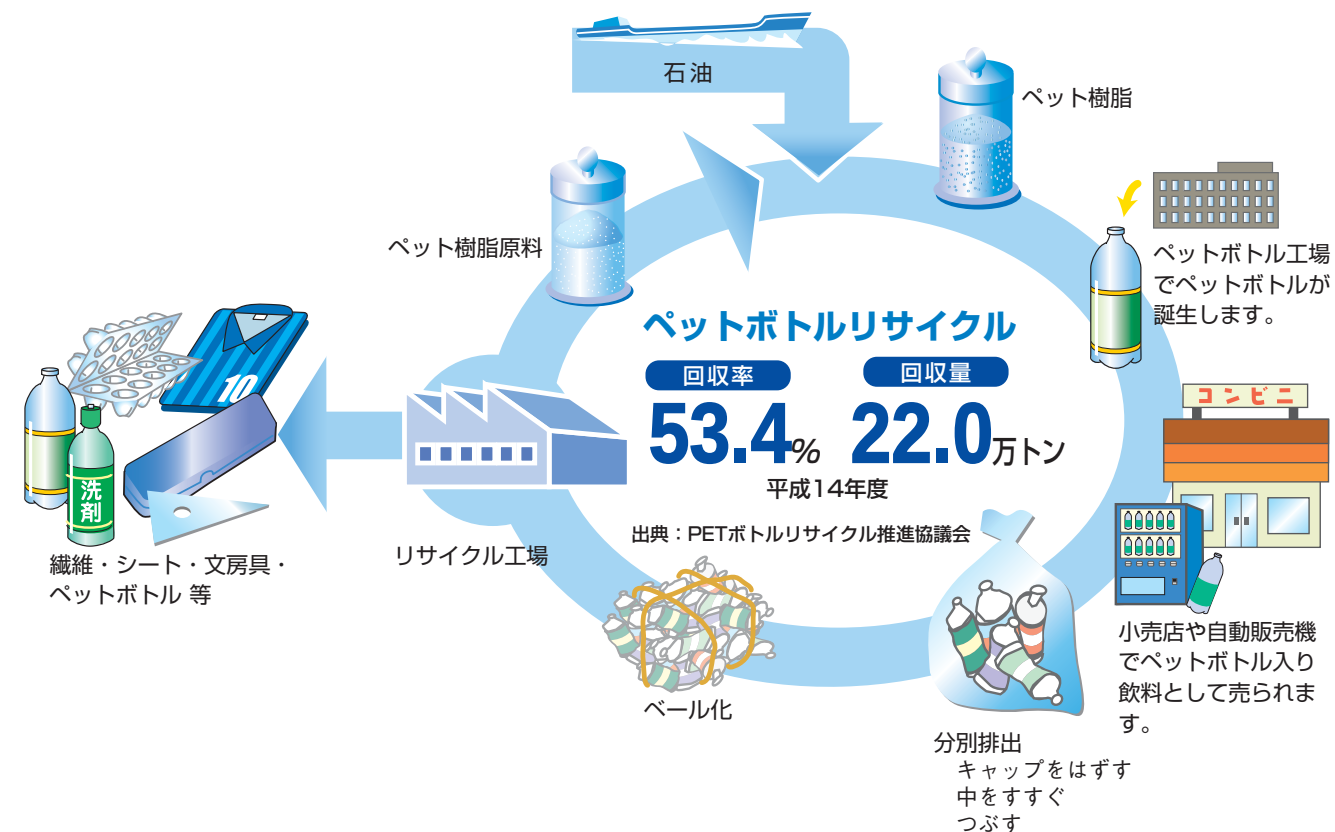
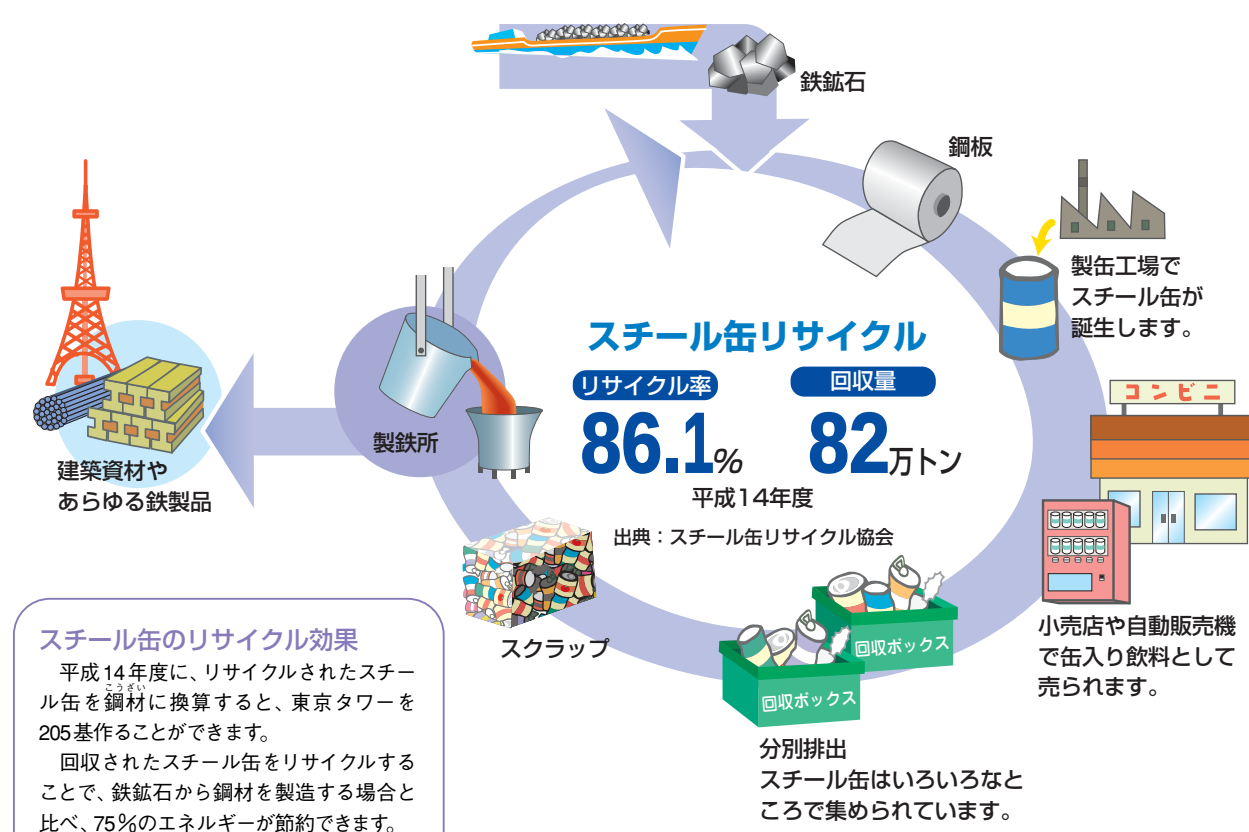
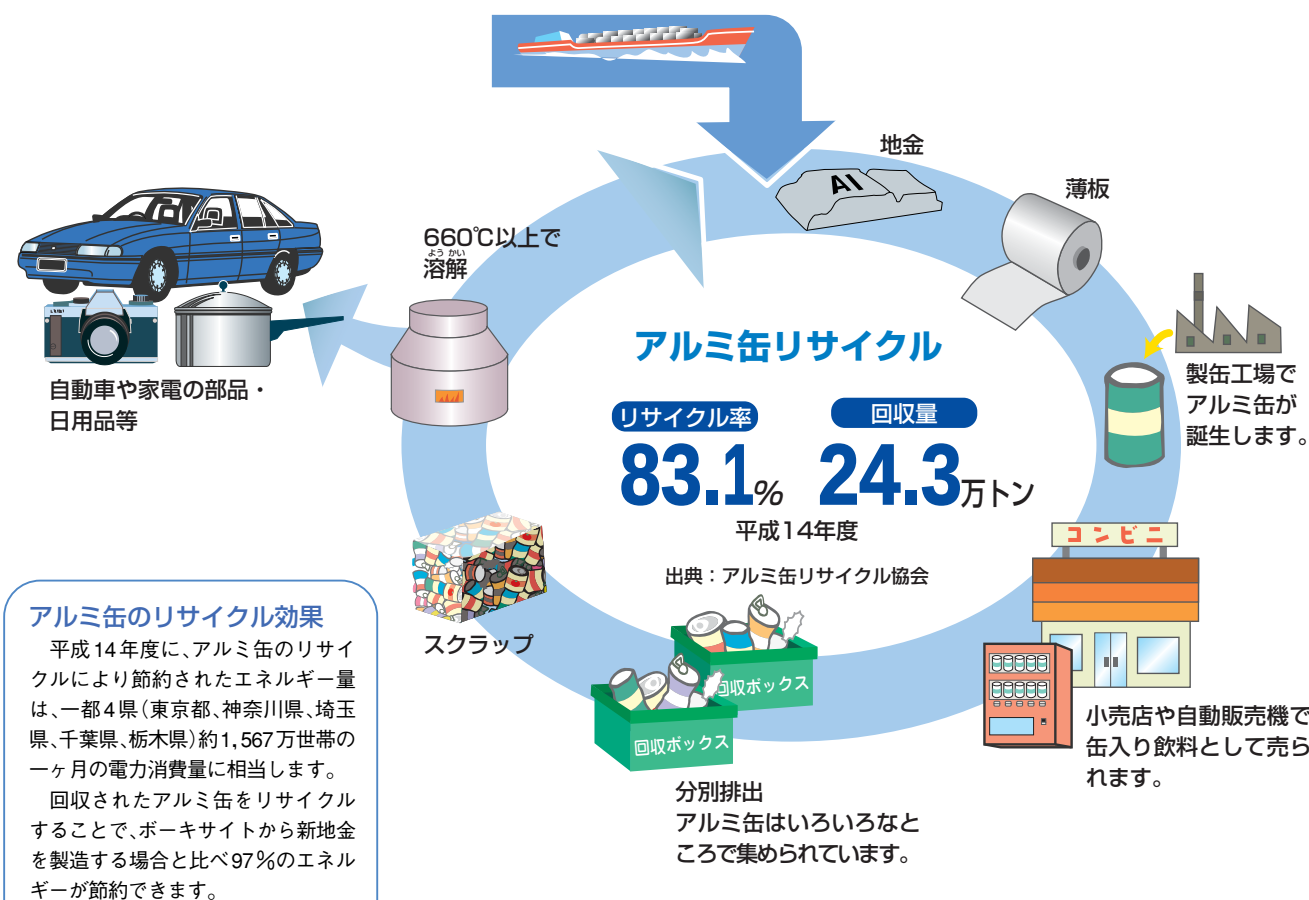


※ 識別マークの表示されていない一次電池については、お住まいの自治体の回収ルールに従って処理してください。

缶・ペットボトルのリサイクルのしくみ

持ち運びに便利でこわれにくく、また、いろいろな場所で気軽に買うことができるため、最近、缶やペットボトルなどの容器に入った飲み物を利用する機会が多くなりました。しかし、中身を飲んだ後、これらの容器は不要になってしまいます。

缶やペットボトルの容器を作るために、たくさんの資源やエネルギーが使われていますが、リサイクルすることにより、原料から新しく作る場合と比べて、資源やエネルギーを節約することができます。



ペット= PET（ポリエチレンテレフタレート）

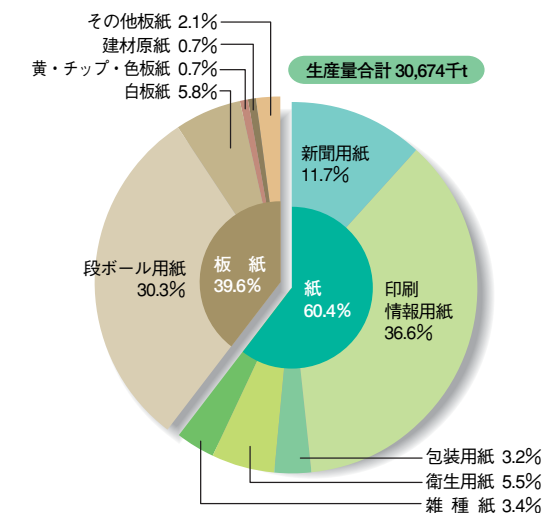
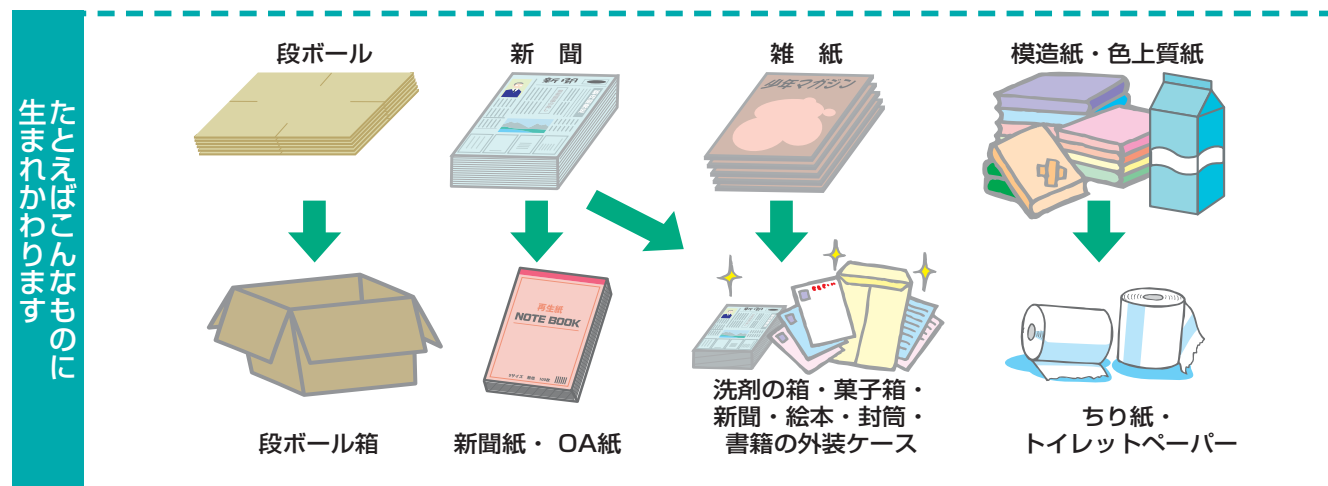
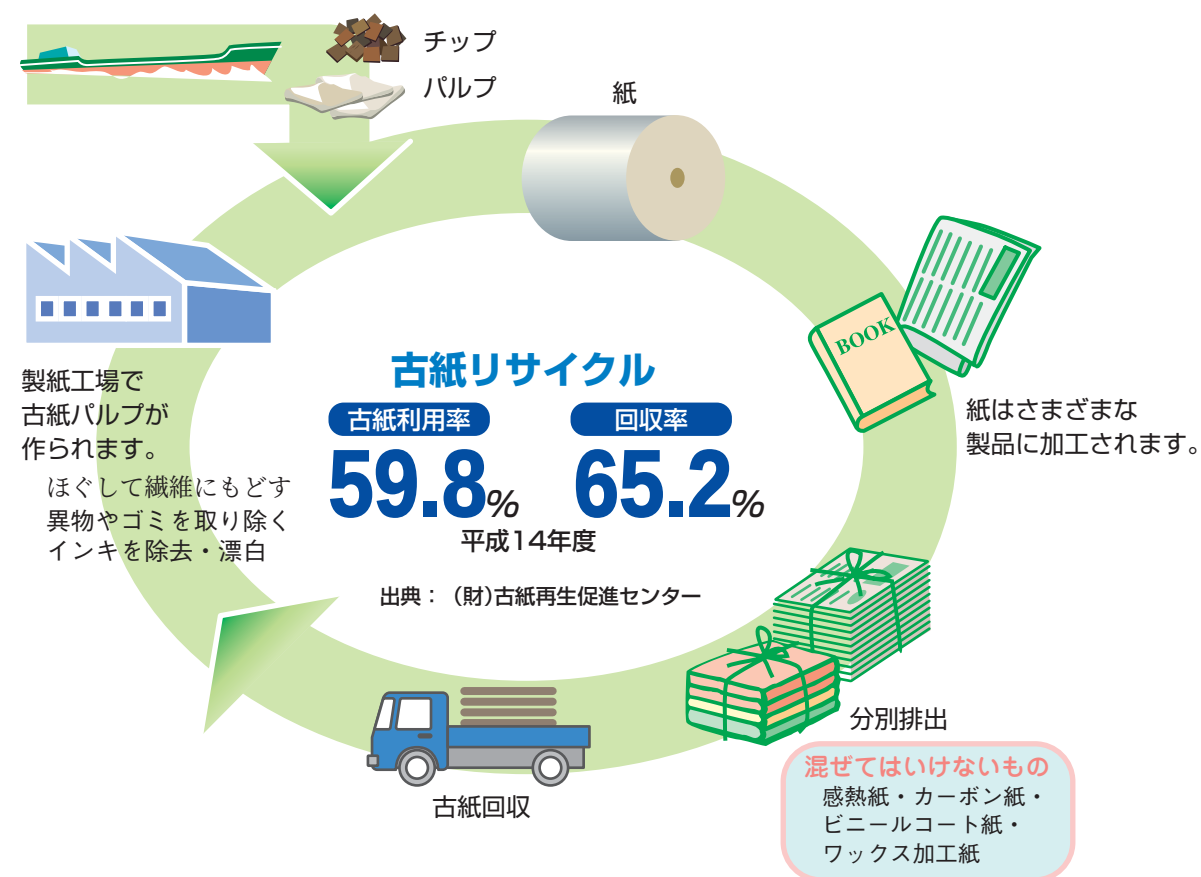
こうして実践！

- ① 資源化できるごみは、地域の分別ルールに従い排出する
- ② 野菜くずや食べ残しの生ゴミはコンポスト容器などを利用し堆肥にする
- ③ 再生材を利用した商品を買う

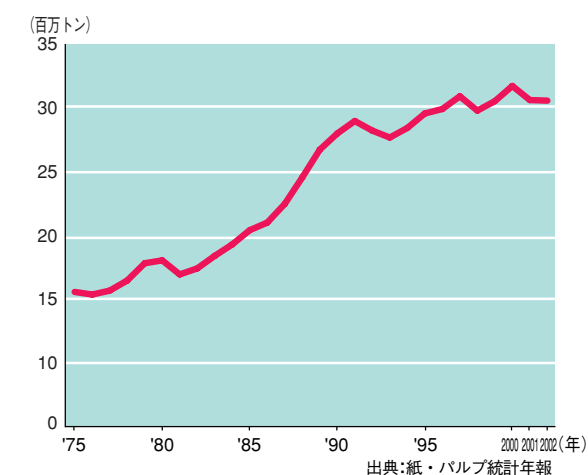
紙のリサイクルのしくみ

紙は使用された後、回収され、ほぐして繊維に戻されます。そして、異物やごみ、インキが取り除かれ、さらに漂白されて再生紙となります。

紙全体に古紙が占める割合は約60%と、半分以上を占めていますが、段ボールなどの板紙での割合が高く、印刷用紙や包装紙での割合はまだ低いといえます。

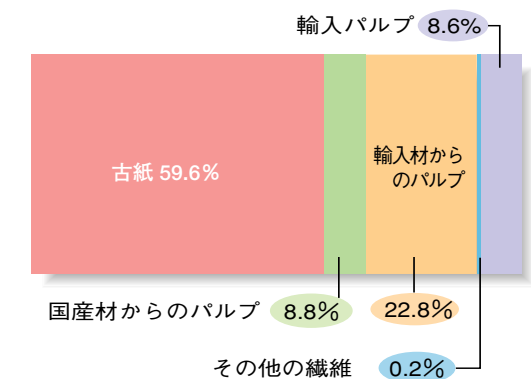


●紙の品種別生産比率(平成14年) 出典：紙・パルプ統計年報



●紙・板紙の生産量の推移

平成14年のわが国の紙・板紙生産量は、約3,067万トンで世界第3位、国民一人当たりの消費量は約241キログラムで、主要国中第5位になっています。

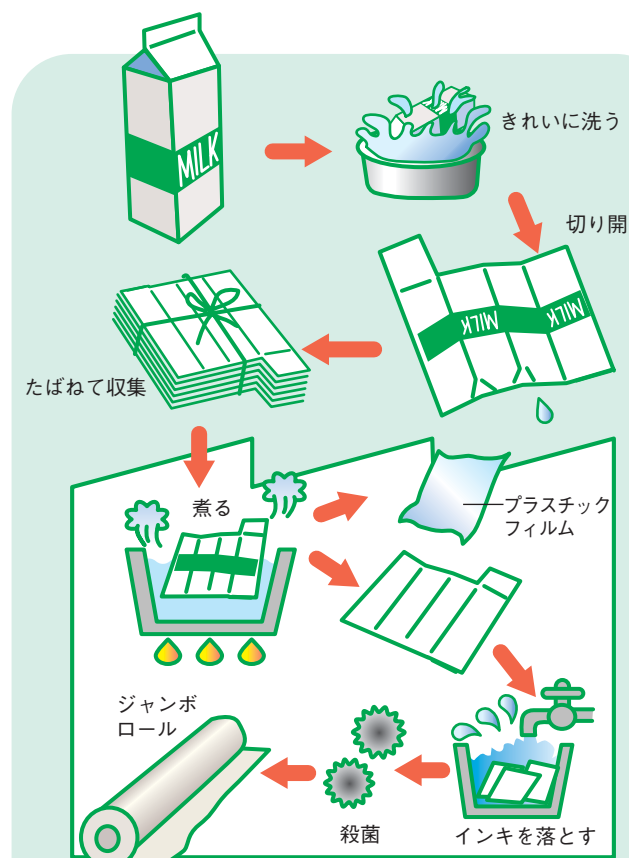


出典：製紙連合会の資料を参考に経済産業省が作成

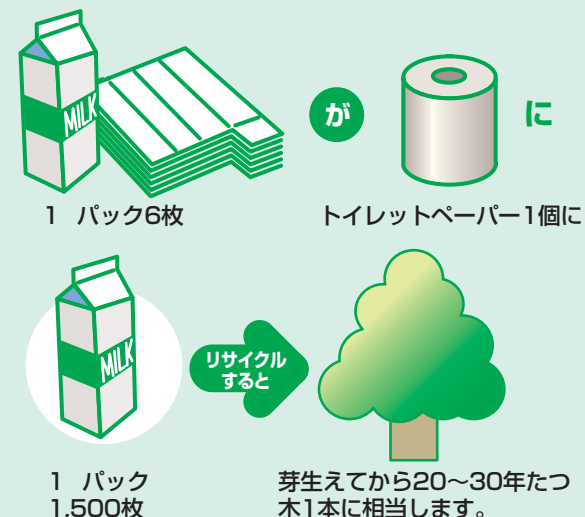
●わが国の製紙原料の構成比(平成14年)

わが国の製紙原料内訳は、古紙が59.6%と半分以上を占め、残りが国産材や輸入材を主体とする木材チップからのパルプと輸入パルプになります。

牛乳パックのリサイクル



牛乳パックは不純な混じり物が少ないので、表面の印刷部をうまく取り除けば、良質の原料に生まれかわります。



循環型社会にするための いろいろな法律

循環型社会を実現するためには、国や地方公共団体、企業・国民など、すべての人々の協力が必要です。

そのためにはそれぞれの人々の役割が法律によって定められています。

■一般的なしくみ

循環型社会形成推進基本法
循環型社会を作るための基本的なしくみを規定

廃棄物処理法

- 1 廃棄物の適正処理
- 2 廃棄物処理施設の施設規制
- 3 廃棄物処理業者に対する規制
- 4 廃棄物処理基準の設定

資源有効利用促進法

- 1 製品の省資源化・長寿命化等
- 2 事業者による製品の回収・リサイクル
- 3 回収した製品からの部品等の再使用
- 4 分別回収のための表示
- 5 副産物の有効利用の促進

■個別物品の特性に応じた規制

	対象物	しくみ
容器包装リサイクル法	ガラスびん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装等	消費者の分別排出、市町村の分別収集、容器包装の製造・利用事業者の再資源化
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン	廃家電を小売店が消費者より引取。製造事業者等による再商品化
建設リサイクル法	解体建築物から発生するコンクリート、木材、アスファルト	工事の受注者が、建築物の分別解体・建設廃材等を再資源化
食品リサイクル法	食品の製造・加工・販売事業者等から排出する食品廃棄物	食品の製造・加工・販売業者が、食品廃棄物を再資源化
自動車リサイクル法	自動車	製造業者等が、廃車をリサイクルした解体業者から、フロン、エアバッグ、シュレッダーダストを引取り再資源化

グリーン購入法（国等が率先して再生品や環境に配慮した商品を調達）

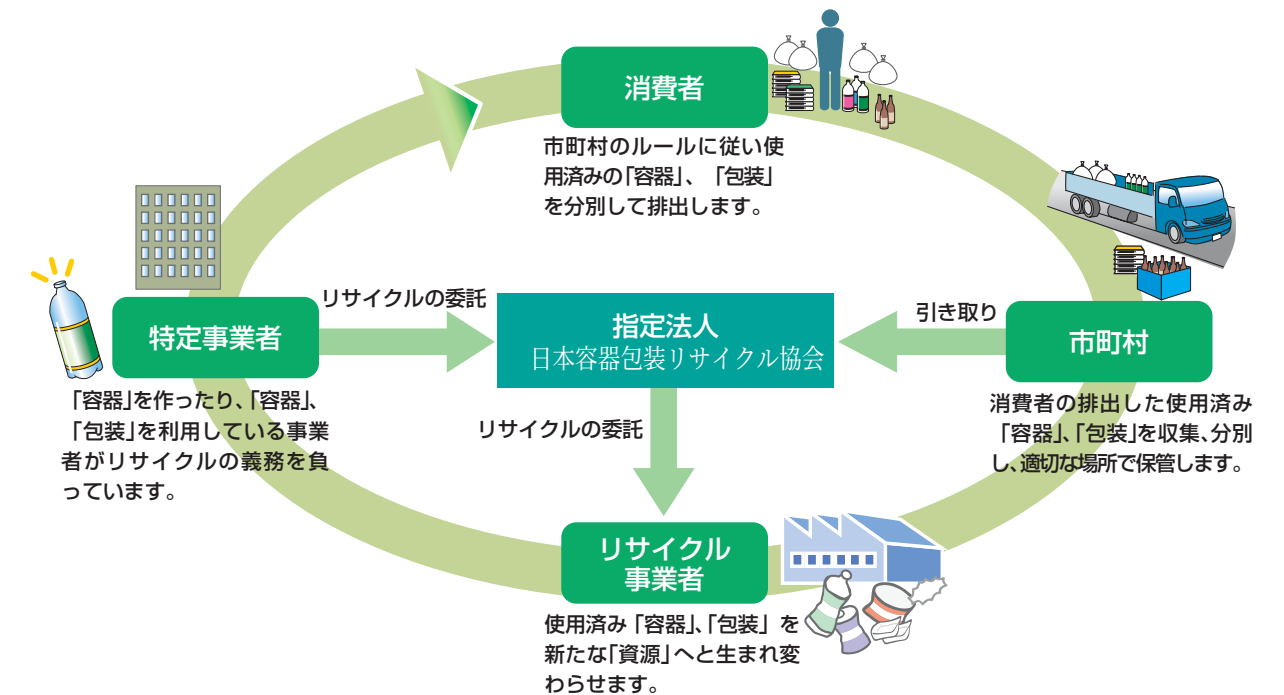
容器包装リサイクル法って なんだろう？



中身を飲み終わったペットボトルや缶などの容器包装を資源として生まれ変わらせるため、消費者である私たちが、分別して出すこと、市町村はこれを分別収

集すること、容器を作ったり容器包装を利用している事業者はリサイクルすることを、定めている法律です。

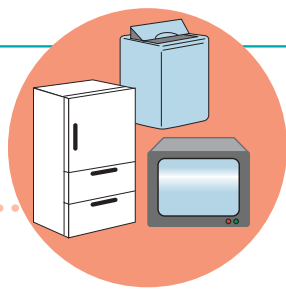
■リサイクルのしくみ



■分別収集の対象となる容器包装

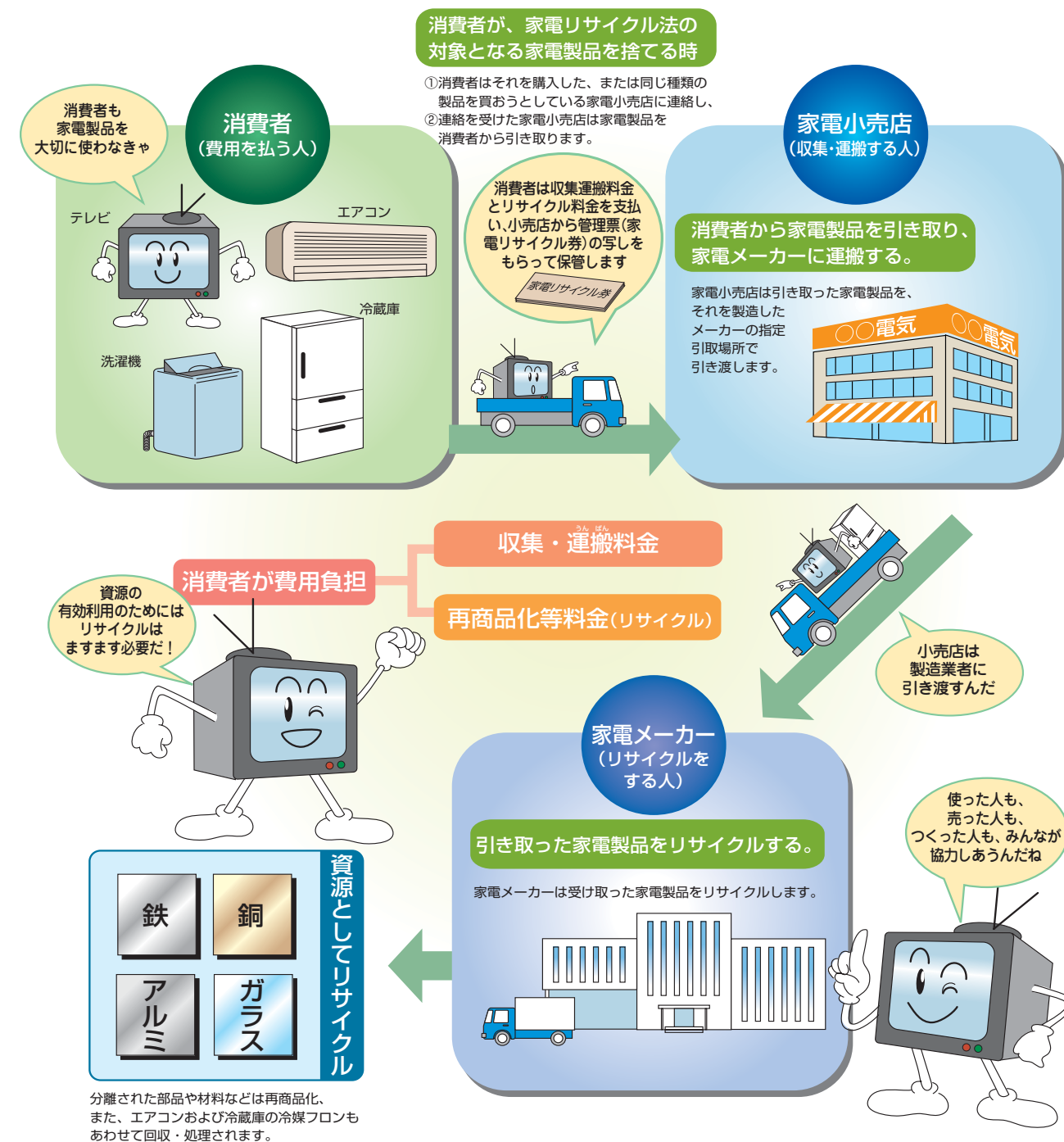
リサイクル製品の例	
● ガラス製容器	・ ガラス製容器、びん ・ 建築、土木材料など
● ペットボトル	・ 繊維 ・ シート ・ ペットボトル（P23で紹介しています）
● プラスチック製容器包装	・ 文房具・日用雑貨などのプラスチック製品 ・ 工業用原材料
● 紙製容器包装	・ 板紙・古紙再生ボード ・ 固形燃料など
● スチール缶	・ P23で紹介しています
● アルミ缶	・ P22で紹介しています
● 紙パック	・ P25で紹介しています
● 段ボール	・ P24を参考にしてください

家電リサイクル法って なんだろう？



従来、家電製品の多くは粗大ごみとして、市町村が収集・埋立処理を行ってきました。ところが、これらのなかにはリサイクルできる（再利用可能な）ものが含まれていたため、リサイクルを進めていくために定められたのがこの法律です。

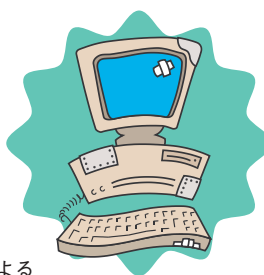
エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の4品目について、家電小売店は消費者から家電を引き取り、家電メーカーに引き渡し、メーカーではそれをリサイクルしていくことが求められています。



パソコンのリサイクル

家庭で使用済みとなったパソコンのリサイクルが平成15年10月1日から始まりました。従来は市町村が回収して粗大ごみや不燃ごみとして処理をしていましたが、パソコンにはリサイクルできる（再利用可能な）金属などが含まれているため、資源有効利用促進法に基づいてリサイクルされることになりました。今後、パソコンが本格的に家庭へ普及するとともに排出量も増加し、平成18年度には現在の2倍強の2万トンを超えると*推計されています。

*（社）電子情報技術産業協会の推計による

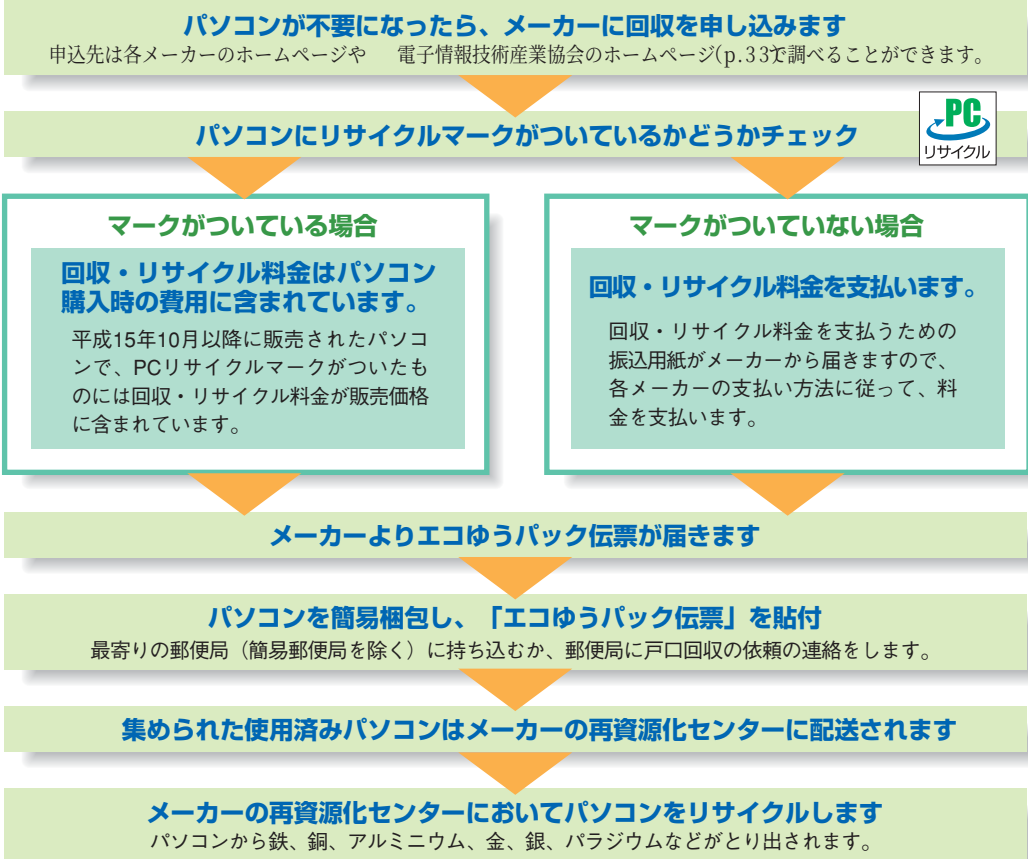


●リサイクルの対象となるパソコン



●家庭の使用済みパソコンのリサイクルのしくみ

（社）電子情報技術産業協会
PC3R事業参加メーカーなどの場合）

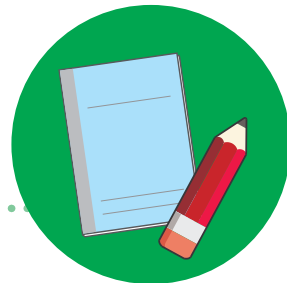


ご注意ください！

パソコンは家電製品とリサイクルのしくみが違います

販売店には引取義務などの直接的な義務はありません。これは、パソコンは購入したあと持ち帰る割合が高く販売店による配達が少ないことや、蓄積されたデータの移替え作業により多くの場合、購入時点と排出時点が異なるという特性があり、販売店での回収が主なルートにはなりにくいからです。

グリーン購入法って なんだろう？



グリーン購入とは、環境への負荷ができるだけ少ない製品やサービスを選択して買うことです。国や自治体がグリーン購入を積極的に進めていくための法律（グリーン購入法）も2001年4月から施行されました。

なお、グリーン購入を行う人たち、すなわち循環型社会によりふさわしい生活を選択する消費者が、グリーンコンシューマです。

すべての人々がグリーンコンシューマになっていくことが求められています。

グリーンコンシューマになろう！（環境のことを考えた商品を買おう。）



国際エネルギースタースターマーク
待機電力の消費電力などに関する基準を満たすパソコンやOA機器に表示されるマーク。



再生PET樹脂リサイクル推進マーク
ペットボトル再生フレーク又はペレットが25%以上原料として使用されている製品に表示されるマーク。



牛乳パック再利用マーク
使用済み牛乳パックを再利用した製品につけられるマーク。



省エネ性マーク
家電製品が国の定める省エネ基準をどの程度達成しているかを表示するマーク。



低排出ガス車認定マーク
自動車の排出ガス低減レベルを、75%で超、50%で優、25%で良の3段階で表示するマーク。



グリーンマーク
古紙を一定以上の割合で原料に使用した紙製品に表示されるマーク。



リターナブルびんマーク
販売店に返却して、繰り返し使うガラスびんのマーク。



再生紙使用マーク
再生紙の古紙配合率を表示するマーク。表記の数字は古紙の配合率を示す。



非木材紙マーク
非木材紙パルプを使用した紙や紙製品、加工品に表示されるマーク。



エコマーク
環境保全に役立つと認められた製品に表示されるマーク。

製品を買うとき、ココが考えるポイント！



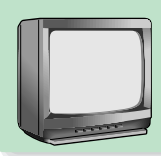
紙
・古紙の配合率が多い。
・白色度が低い。



照明
・エネルギー消費効率が高い。
・寿命が長い。



文房具
・再生材料を多く使用している。
・消耗部品が交換できる。
・補充ができる。



テレビ
・消費電力が少ない。
・節電機能がついている。
・アフターサービスがついている。

3

企業の3Rへの取り組み

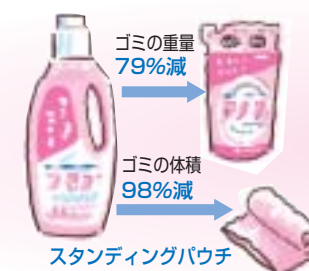
3Rに企業は こうして取り組んでいます

家庭用品容器のリデュース

ごみを減らそう！

シャンプーや洗剤等の容器は、家庭で中身が使用された後、大半がごみとして排出されてしまいます。家庭製品製造メーカーL社は、容器包装に使用するプラスチックの使用量を削減したり、くり返し使用

できる詰め替え用製品の拡充により、家庭から出るごみの削減に努めています。また、家庭でごみの分別が容易に行えるよう材料の識別表示も工夫しています。



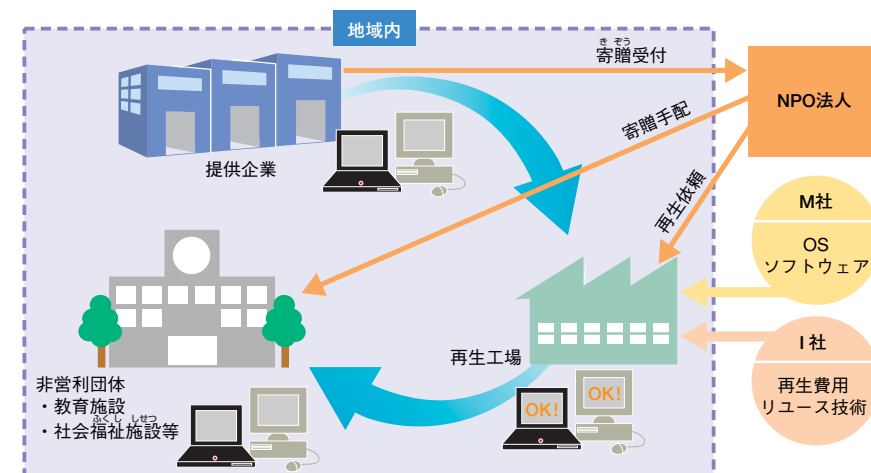
リユースパソコンの寄贈プログラム

くり返し使おう！

情報産業関連会社のI社及びM社は、企業、団体等が提供する中古パソコンを、地元の企業・団体で再生し、その地域の福祉・教育施設に寄贈する社会貢献プログラムを非営利団体（NPO）と協力し実施

しています。I社及びM社は、パソコン再生の際の費用や技術、再生パソコンで使用するソフトウェアなどを提供しています。

●リユースパソコン寄贈プログラムの流れ



2003年実績

- リユースパソコン提供台数 3,600台（23社）
- リユースパソコン寄贈先 3,050台（808団体）
（社会福祉団体）
（教育機関）
（NPO法人等）

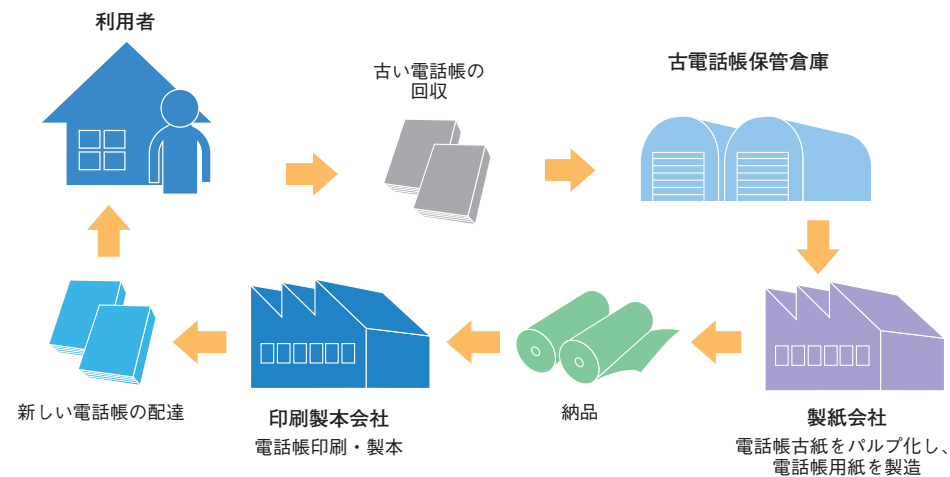
電話帳のリサイクル

再び資源として利用しよう！

電話帳は年間、約1億2000万部発行され、約10万トン（国内の紙の総生産の約0.3%）もの紙を使用しています。電話帳の発行、配達を行っているN社では、森林資源の節約、ごみの削減などの問

題に対応するため、電話帳の一部を希望者分のみの生産にしたり、「電話帳クローズドループリサイクル」という古い電話帳を回収し、新しい電話帳に再生するシステムを構築しました。

●電話帳クローズドループリサイクルシステム



発泡スチロールトレイのリサイクル

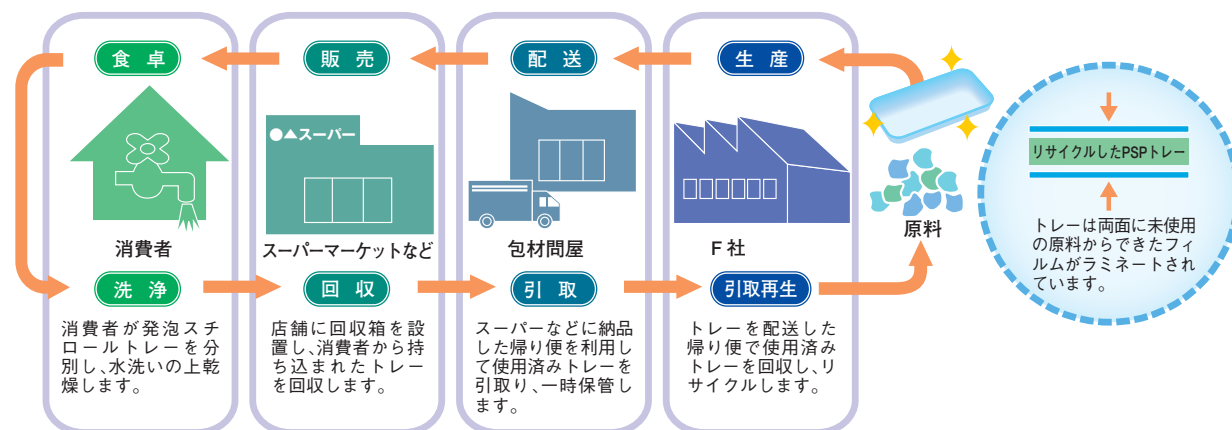
再び資源として利用しよう！

プラスチック製食品容器製造メーカーF社は、スーパーマーケットなどの店頭で回収した使用済み発泡スチロールトレイを、原料であるペレットにもどし、再度トレイを生産しています。家庭で一度洗浄された後、店頭で回収されたトレイは、工場です度、洗浄され、ペレット化、シート化、フィルムラミネ

ート化の上、成型されます。再生されたトレイは食品衛生法の規格基準に適合しており、またそれぞれの工程で200℃で高温加熱されるため、衛生的で安全であることが認められています。

再生トレイはくり返しリサイクルできます。

●発泡スチロールトレイのリサイクルの流れ



4 情報を活用しよう

ホームページを活用しよう

●環境問題についてもっと知りたい

全国地球温暖化防止活動推進センター http://www.jccca.org/	地球温暖化問題について知り、調べ、活動するためのサイト。地球温暖化に関係する国内外の情報やデータ、地球温暖化の勉強に役立つ教材や画像資料を紹介しています。
EIC ネット（国立環境研究所） http://www.eic.or.jp/	環境問題について知りたい、環境保全に取り組みたい人のための環境情報案内・交流サイト。国内外の環境ニュースやサイト・用語・機関・イベント情報、Q&A・フォーラムなどを環境カテゴリー別に分類しています。
環境 goo http://eco.goo.ne.jp/	環境情報のポータルサイト。「ジャンル別」、「業種別」、「団体別」の項目ごとに環境に関する情報が検索できます。各国のエコライフ情報、暮らしの豆知識、おすすめホームページなどに関する情報を登録者に無料で配信するサービスもあります。
EcologySymphony http://www.ecology.or.jp/	環境情報を総合的に発信する月刊のオンラインマガジン。「入門編」、「一般編」、「専門編」に分け、環境に関する幅広い情報を提供。企業の環境報告書や、企業や行政が公開中の子供向け環境ホームページも紹介しています。

●リサイクルについての情報が知りたい

財団法人日本容器包装リサイクル協会 http://www.jcpra.or.jp/	特定事業者から委託を受け、再商品化（リサイクル）を行っている指定法人のページ。容器包装リサイクル法の概要やQ&A集、容器包装に関する情報やデータを提供しています。
アルミ缶リサイクル協会 http://www.alumi-can.or.jp/	アルミ缶のリサイクルに関する情報を提供。国内外のリサイクルに関する情報やデータの提供、自治体・町内会・団体・学校・スーパー等の取り組み事例を紹介しています。
スチール缶リサイクル協会 http://www.rits.or.jp/steelcan/	スチール缶リサイクルに関する情報を提供。国内外のリサイクルに関する情報やデータの提供、スチール缶の歴史や空き缶のポイ捨て防止のための環境美化活動事例を紹介しています。
PET ボトルリサイクル推進協議会 http://www.petbottle-rec.gr.jp/top.html	ペットボトルのリサイクルに関する情報を提供。国内外のペットボトルリサイクルの現状に関する情報やデータを提供。PET ボトルのリサイクル製品や購入先も紹介しています。
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 http://www.pprc.gr.jp/	プラスチック容器包装のリサイクルに関する情報を提供。プラスチック容器包装を製造・利用する事業者の3Rへの取り組みや、Q&A集、プラスチック容器への識別マークについて紹介しています。
紙製容器包装リサイクル推進協議会 http://www.kami-suisinkyo.org/	紙製容器包装のリサイクルに関する情報を提供。紙製容器包装を製造、利用する事業者の3Rの取り組みや、紙製容器の識別マークについて説明しています。
(社)プラスチック処理促進協会 http://www.pwmi.or.jp/	プラスチックリサイクルに関する情報を提供。「プラスチック情報局」のコーナーでは生活者のためにリサイクルをわかりやすく説明しているほか国内・海外の取り組みも紹介しています。
発泡スチロール再資源化協会 http://www.jepsra.gr.jp/	発泡スチロールのリサイクルに関する情報を提供。発泡スチロールリサイクルの現状やデータ、Q&A集、地球環境と発泡スチロールの関わり等について紹介しています。
日本製紙連合会 http://www.jpa.gr.jp/	紙全般と紙のリサイクルに関する情報を提供。国内外の紙及び古紙に関する情報やデータ、紙に関するQ&A集、紙の歴史、紙と環境の関わり等について、わかりやすく紹介しています。
財団法人古紙再生促進センター http://www.prpc.or.jp/	古紙と紙のリサイクルに関する情報を提供。国内外の古紙に関する情報やデータ、オフィス古紙リサイクルマニュアル、グリーンマーク等について紹介しています。
ガラスびんリサイクル促進協議会 http://www.glass-recycle-as.gr.jp/	こどものページ、Q&A、データ集などカテゴリ別に分類された消費者のページをつくりガラスびんの3Rについてわかりやすく紹介しています。
段ボールリサイクル協議会 http://www.jcca.gr.jp/jp/index8a.html	段ボールのリサイクルに関する統計資料やリサイクルの推進シンボルの運用方法を紹介しています。
全国牛乳容器環境協議会 http://www.yokankyo.jp/	紙パックのリサイクルの流れや統計資料、自治体の取り組み事例などを紹介しています。
小形二次電池再資源化推進センター http://www.jbrcc.com/	充電式電池のリサイクルに関する情報を提供。使用済み電池の処理やリサイクル方法について電池の種類別に紹介。充電式電池の回収ボックスを設置している全国の協力店を検索できます。
家電リサイクル券センター/財団法人家電製品協会 http://www.rkc.aeha.or.jp/	家電リサイクル法をサポートする家電リサイクル券システムについて詳しく説明。指定取引先一覧や再商品化等料金一覧、発券履歴など、家電のリサイクルシステムの現状がわかります。
家庭系PCリサイクル/社電子情報技術産業協会 http://www.pc3r.jp/home2.html	家庭から排出されるパソコンのリサイクルに関する情報を提供。不要になったパソコンをリサイクルするための手続きや回収を行う企業一覧、Q&A集など、パソコンリサイクルについてわかりやすく紹介しています。

経済産業省

トップページ <http://www.meti.go.jp>
3R政策 <http://www.meti.go.jp/policy/recycle>



▲経済産業省 トップページ



▲3 R 政策



▲家電リサイクルページ



▲キッズページ

3R政策、家電リサイクル法、地球環境対策、化学物質対策などに関する情報を提供しています。「キッズページ」では、環境を含む経済産業省の政策などについて、楽しく学ぶことができます。

環境省

<http://www.env.go.jp>



▲環境省 トップページ



▲廃棄物・リサイクル対策



▲こどものページ

我が国の廃棄物の処理の現状や、循環型社会形成に向けた取り組みについて情報を提供しています。「こどものページ」では、環境を体験、調査、観察するために役立つ情報や、こどもの環境活動の事例を紹介しています。

クリーン・ジャパン・センター

<http://www.cjc.or.jp>



▲クリーン・ジャパン・センター トップページ



▲環境リサイクル情報センター



▲環境リサイクル学習ホームページ

3R関連の行政の動向、我が国の廃棄物・リサイクルの現状、統計データなどの情報を提供しています。「環境リサイクル学習ホームページ」では、小・中学校の調べ学習で活用できるよう、環境リサイクル問題についてわかりやすく解説しています。

5 これから

できることを見つけて、 取り組んでいこう！

豊かで恵まれた地球の環境を守り、未来の子供たちに引き継いでいくためには、私たちは、ごみ問題をはじめとする環境問題を解決していかなければなりません。

私たちは今、便利さや快適さを追い求め、大量にモノを消費し、捨ててきたこれまでの「使い捨て型」のライフスタイルを見直し、資源やモノを大切に使い、ごみをなるべく出さない「循環型」のライフスタイルへと転換していかなければならない時期にきています。

「いま、地球のために何ができるの？」

このパンフレットは、そのような疑問に対し、暮ら

しの中で実行できる3Rについて紹介しています。どれも当たり前と思えることばかりですが、いざ実行するとなると、すぐに出来ないこともあるかもしれません。

しかし、私たち一人ひとりが、環境のことを少しでも意識して、できることから実行すれば、その積み重ねが、私たちのライフスタイルを「循環型」に転換し、社会のシステムまでも変えていくことにつながるのです。

さあ、あなたも、さっそく、できることから3Rを始めてみませんか！



スリーアール 10月は 3R 推進月間です

循環型社会
をつくるため

リデュース (Reduce:物を大切に使おう、ごみを減らそう)

リユース (Reuse:繰り返し使おう)

リサイクル (Recycle:再び資源として利用しよう)



に取り組みましょう

政府のリサイクル関係8府省[※]では、10月をリデュース・リユース・リサイクル（略称3R）推進月間と定め、各方面での取り組みを推進しています。全国の自治体やリサイクル関連団体なども3R推進のためのさまざまな行事を開催しています。

※8府省とは、内閣府・財務省・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省です。

経済産業省

産業技術環境局リサイクル推進課

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

企画／制作 株式会社サンビジネス

(2004.3.20,000)

できることから始めよう。

